

科目名・単位数	コストマネジメント研究 2単位	科目分類	管理会計系	発展科目
配当年次	1年次・秋学期・昼	担当教員	ほそだ まさひろ	
履修形態	選択必修		細田 雅洋	
授業概要	<p>本講義では、戦略の遂行を支援する原価計算について学ぶことを目的とする。具体的には、戦略の遂行に必要なコストを測定・評価するための原価計算の理論と方法、およびそのコストを管理するために計画とコントロールを行うための理論と方法について学ぶ。</p>			
到達目標	<p>企業経営の実務において、コストマネジメントがいかに行われているかを理解し、その活用能力を培うこと。</p>			
授業方法	<p>① 各回のテーマを配布資料にもとづいて解説し、次いでそこでの疑問点、問題点などについて討議する。 ② コストマネジメントについての理解を深めるために学生による事例研究報告を適宜実施する。</p>			
事前・事後学習	<p>各回のテーマについて講義前に参考図書等で学習しておくこと (60分)。また、講義終了後には講義内で扱った例題や事例を復習し、理解を深めること (60分)。</p>			
成績評価の方法	<p>討議における質問・意見などの評価 (平常点) を 20%、事例研究報告の評価を 80%とし、それらを総合して評価する。</p>			
フィードバックの方法	<p>討議や事例研究報告の内容につき、フィードバックをする。</p>			
履修上の注意	<p>原価計算原理および管理会計 I の知識が必要であるため、それぞれの科目を履修してから参加すること。</p>			
授 業 計 画				
第 1 回	<p>本講義のガイダンス 本講義の進め方を説明したうえで、マネジメント・コントロールとマネジメント・コントロールにおける原価計算の役割について概説する。</p>			
第 2 回	<p>伝統的原価計算の意義と限界 原価計算原理および管理会計 I での講義内容を踏まえ、その意義と限界について理解する。</p>			
第 3 回	<p>標準原価計算の問題点 伝統的原価計算のもとでコストマネジメントの手法として位置づけられてきた標準原価計算の問題点について理解する。</p>			
第 4 回	<p>ABC/ABM (活動基準原価計算/活動基準管理) I ABCは、製品戦略のための効果的な手法として、1980年代の後半に米国で台頭してきた原価計算の方法である。ここでは、ABCの生成背景、ABCの概要、ABCの方法について理解する。</p>			

第 5 回	<p>ABC/ABM (活動基準原価計算/活動基準管理) II</p> <p>ABCは、その情報を利用することによる原価低減などのための手法であるABMへと展開された。ここでは、ABMとは何か、経営プロセスにおける活動分析について理解する。また、ABC/ABMの理解を深めるため、学生による事例研究報告を実施する。</p>
第 6 回	<p>ABC/ABM (活動基準原価計算/活動基準管理) III</p> <p>ABC/ABMの導入事例が書かれた研究論文を用いて、実務におけるABC/ABMの有効性について議論する。事例では、製造業だけでなくサービス業にも範囲を広げる。また、ABC/ABMの理解を深めるため、学生による事例研究報告を実施する。</p>
第 7 回	<p>顧客別収益性分析</p> <p>ABCおよびABMの内容を踏まえ、顧客の収益性を明らかにし、収益性改善のための意思決定を支援するための原価計算手法として顧客別収益性分析について理解する。</p>
第 8 回	<p>戦略的コストマネジメント</p> <p>伝統的な原価管理・利益管理のあり方を見直す中で、戦略的コストマネジメントという概念が生まれた。ここでは、戦略的コストマネジメントが対象とする課題と原価計算との関わりを理解する。</p>
第 9 回	<p>原価企画</p> <p>原価企画は、日本発の戦略的コストマネジメントの手法である。ここでは、原価企画の意義、目標原価の設定、その達成管理手法について理解する。また、原価企画についての理解を深めるため、学生による事例研究報告を実施する。</p>
第 10 回	<p>ライフサイクル・コストイング (LCCing)</p> <p>LCCingはライフサイクル・コストを測定・評価するための技法である。ここでは、企業と市場との関係、ライフサイクル・コストとは何か、LCCingの実際について理解する。</p>
第 11 回	<p>マテリアル・フローコスト会計</p> <p>マテリアルフローコスト会計は、製造活動での環境負荷の低減を目指したコスト低減を同時に追求する手法である。ここでは、マテリアル・フローコスト会計についての内容とその有効性を理解する。また、マテリアル・フローコスト会計についての理解を深めるため、学生による事例研究報告を実施する。</p>
第 12 回	<p>固定収益会計</p> <p>固定収益会計は、顧客との取引関係の構築を通じて、安定経営の実現を支援するための管理会計手法である。ここでは、固定収益会計の内容とその有効性を理解する。</p>
第 13 回	<p>バランス・スコアカード (BSC)</p> <p>BSCは、戦略から導き出される業績評価指標を統合するための新しいフレームワークである。ここでは、BSCとは何か、BSCの業績評価への役立ち、BSCの経営品質への役立ち、BSCの有効な適用領域について理解する。</p>
第 14 回	<p>プロジェクトマネジメントにおけるコストマネジメント</p> <p>プロジェクトマネジメントの遂行を支援するためのコストマネジメントについて理解する。具体的には、EVMの内容とその有効性についてグループワークを通じて理解する。</p>
第 15 回	<p>コストマネジメントの展望</p> <p>これまでのコストマネジメントの展開を整理するとともに、これを踏まえて今後どのような展開が予測されるかについて考察する。また、これまでの回で扱ったコストマネジメント技法について、学生による事例研究報告を実施する。</p>
テ キ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の際に配布する配布資料
参 考 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山田庫平・吉村聡編著『現代原価・管理会計の基礎』東京経済情報出版 ・ 岡本清著『原価計算 (六訂版)』国元書房 ・ 小林哲夫著『現代原価計算論』中央経済社。 その他、講義内で適宜紹介する。